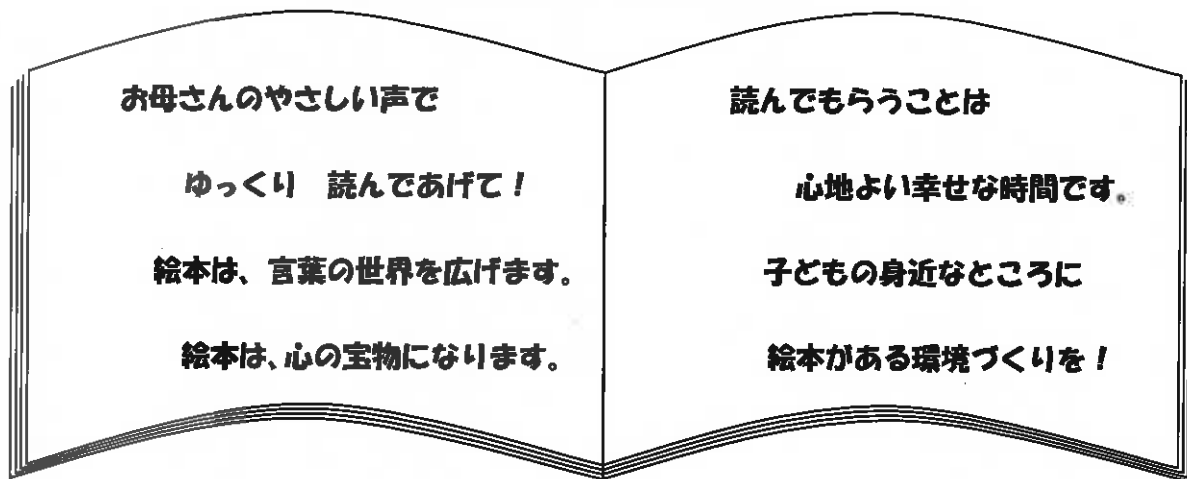


岡谷市こどものためのブックリスト

岡谷市読書活動推進会議

☆乳幼児向け

よんで！読んで！楽しい絵本



おひさのなかで

<p>おつきさまこんばんは (林明子 さく 福音館書店) 夜空に浮かぶお月さまや、前を横切る雲とお話するように描かれた絵本です。</p>	<p>ねないこだれだ (せなけいこ さく・え 福音館書店) 「こんな時間におきてるのだれだ？」 ふくろうにどらねこにどろぼう… そうら、もうお化けの時間…。</p>
<p>だるまさんが (かがくいひろし さく ブロンズ新社) 「だ・る・ま・さ・ん・が」左右に動くだるまさん。ページをめくると…あらら、びっくり！大笑い。さて、お次は…。とびきり愉快的な絵本です。</p>	<p>もこ もこもこ (谷川俊太郎 作 元永定正 絵 文研出版) 「しーん、もこもこ、によきによき」と膨れあがったものが、みるまに大きくなってパチンとはじけた。楽しい言葉とともに不思議でおかしな世界が広がります。</p>
<p>どうすればいいのかな？ (わたなべしげお ぶん おおとも やすお え 福音館書店) 主人公のこぐまが、毎日の生活の中で「どうすればいいのかな？」とひとつひとつ体験していく姿をユーモラスに語った楽しい絵本</p>	<p>おっぱい (みやにしたつや 作・絵 鈴木出版) 「ぞうさんだつてぶたさんだつて、みんなおっぱい飲んで元気になるよ。ほら僕もね。でも今は…」 お兄ちゃんお姉ちゃんにも読んであげたい絵本です。</p>

ね え ね え よ ん で

<p style="text-align: center;">ぞうくんのさんぽ (なかのひろたか さく・え 福音館書店)</p> <p>「きょうは いいてんき」散歩に出かけたぞうくんは、途中で出会ったかばくとわにくんとかめくんとを背中に乗せて…。愉快的散歩に子どもたちを誘います。</p>	<p style="text-align: center;">しろくまちゃんのホットケーキ (わかやまけん 絵 森比佐志 文 わだよしおみ 文 こぐま社)</p> <p>しろくまちゃんがホットケーキを作ります。卵を割って、牛乳いれて…。どろどろ・ぷつぷつ・ふくふく…ほら、出来上がり。</p>
<p style="text-align: center;">たべたのだあれ (五味太郎 さく 文化出版局)</p> <p>さくらんぼ食べたの だあれ、いちごは？ 食べたものが どこかにくっついているよ！ さがしてみて…。</p>	<p style="text-align: center;">そらはだかんぼ！ (五味太郎 作 借成社)</p> <p>「ライオンくん！おふろですよ。はだかんぼになりなさい」ライオンが毛皮を脱いだらくまに、くまが服を脱いだら？それから…。 意外な結末にびっくり！</p>
<p style="text-align: center;">おばけのてんぷら (せなけいこ 作・絵 ポプラ社)</p> <p>うさこがご機嫌でてんぷらを揚げていると、 においに誘われた山のおばけが、そーっと 忍び込んできました。さあ、たいへん！</p>	<p style="text-align: center;">ねずみくんのチョッキ (なかえよしを 作 上野紀子 絵 ポプラ社)</p> <p>お母さんがあんでくれた、かわいいチョッキ。 「ちょつときせてよ」と動物の仲間たち。あら あら、チョッキがどんどんのびて…。</p>
<p style="text-align: center;">おおきなかぶ ロシア民話 (A. トルストイ 再話 内田莉莎子 訳 佐藤忠良 画 福音館書店)</p> <p>「うんとこしょ、どっこいしょ」大きなかぶを みんなで力を合わせて抜く、繰り返しの楽しい 絵本です。</p>	<p style="text-align: center;">とりかえっこ (さとうわきこ 作 二俣 英五郎 絵 ポプラ社)</p> <p>あそびに出かけたひよこは、出会った動物と 次々に鳴き声をとりかえっこします。「ねずみ さん、なきごえとりかえっこしようよ」「ちゅう」 帰ってきたひよこの声にお母さんはびっくり</p>
<p style="text-align: center;">てぶくろ ウクライナ民話 (エフゲーニ・ラチョフ え うちだりさこ 訳 福音館書店)</p> <p>雪の上に落ちていた手袋にネズミが住みこ みました。 そこへカエルやウサギやキツネがやってき て、とうとう手袋ははじけそう…。</p>	<p style="text-align: center;">わたしのワンピース (にしまきかやこ えとぶん こぐま社)</p> <p>空から落ちてきた真っ白い布で、うさぎさん がワンピースを作りました。それを着てお花 畑を通るとワンピースは花模様に、雨が降る と水玉模様に…次々と柄が変わります。</p>
<p style="text-align: center;">みんなうんち (五味太郎 さく 福音館書店)</p> <p>子どもにとって興味のある、そして大事な「う んち」をユーモアいっぱいの絵本にしました。 「いきものはたべるから、みんなうんちをする んだね」</p>	<p style="text-align: center;">はっぱのおうち (征矢清 さく 林明子 え 福音館書店)</p> <p>雨の中、さちが木の葉の家で雨宿りをしてい ると、カマキリ、チョウ、コガネムシも雨宿りに やってきました。小さな虫たちとの交流を静 かに描きます。</p>

おもしろいおはなしいっぱい

<p style="text-align: center;">ねえ、おきて！ (さとうわきこ 作 架空社)</p> <p>いぬくんがねこくんを起こします。ぐっすり寝ているねこくん。やっと起こしたいぬくんは…。ユーマアたっぷりの絵本です。</p>	<p style="text-align: center;">ぼちぼち いこか (マイク=セイラー さく ロバート=グロスマン え いまえよしとも やく 偕成社)</p> <p>かぼくんが、やる気を出して色々やってみますが、何をやってもノー！ひと休みして ぼちぼちいこか に落ち着きます。関西弁の楽しい絵本です。</p>
<p style="text-align: center;">お月さまってどんなあじ？ (ミハエル グレイニク 絵と文 いずみちほこ 訳 セーラー出版)</p> <p>お月さまってどんな味がするのかな？お月さまをかじってみたいと動物たちが次々に自分の背中に他の動物を乗せていきます。そしてとうとう…。</p>	<p style="text-align: center;">三びきのやぎのがらがらどん アストリッド・リンゼンとモーの北欧民話 (マーシャ・ブラウン え せたていじ やく 福音館書店)</p> <p>山の草を食べて太ろうとする3匹のヤギと、谷川にいるトルロとの対決のお話。リズムカルな展開と結末に心がスカッとさせる絵本です。</p>
<p style="text-align: center;">はらぺこあおむし (エリック・カール さく もりひさし やく 偕成社)</p> <p>日曜日の朝、あおむしが生まれました。くいしんぼうのあおむしは、毎日いろいろなものを次々に食べていきます。穴あきのしかけを凝らした絵本です。</p>	<p style="text-align: center;">ぐりとぐら (なかがわりえこ さく おおむらゆりこ え 福音館書店)</p> <p>野ねずみのぐりとぐらは森で大きな卵を見つけました。大きな卵で大きなカステラができました。残った卵の殻は…。</p>
<p style="text-align: center;">おおかみと七ひきのこやぎ (グリム 原作 フェリクス・ホフマン え せたていじ やく 福音館書店)</p> <p>グリム童話のお話。「あけておくれ、こどもたちおおかみさんだよ。たべものをもってきたよ。」留守番をしている子やぎたちは…。</p>	<p style="text-align: center;">そらまめくんのベッド (なかやみわ さく・え 福音館書店)</p> <p>そらまめくんの宝物はふわふわのベッド。だから、誰にも貸してあげません。ところが、そのベッドが突然なくなってしまったのです…。</p>
<p style="text-align: center;">うちしたのはだれよ！ (ヴェルナー・ホルツワルト 文 ウォルフ・エールブルッフ 絵 関口裕昭 訳 偕成社)</p> <p>「ねえ きみ、ぼくのあたみに、うちおとさなかつた？」とんだ災難にみまわれたもぐら君。犯人探しに出かけます。いったい誰が…。</p>	<p style="text-align: center;">11匹きのねこ (馬場のぼる 著 こぐま社)</p> <p>11匹ののらねこたちは、いつもおなががぺこぺこ。大格闘の末、やっと怪魚を生け捕りにしますが…。 あつと驚くどんでん返し！！</p>
<p style="text-align: center;">はじめてのおつかい (筒井頼子 さく 林明子 え 福音館書店)</p> <p>みいちゃんが、お母さんに頼まれて初めてのお使いに出かけます。ハラハラドキドキ…。いろんなことに出会います。</p>	<p style="text-align: center;">どろんこハリー (ジーン・ジオン ぶん わたなべしげお やく マーガレット・ブロー・グレアム え 福音館書店)</p> <p>お風呂が大嫌いなハリーは、体を洗うブラシを隠して遊びに逃げ出します。どろんこになったハリーが家に帰ると…。</p>

この本読んだ？

<p>どろんこおそうじばばあちゃんのおはなし (さとうわきこ さく・え 福音館書店)</p> <p>こいぬとこねこが森の動物たちと泥まみれの 大げんかをしているのを見たばばあちゃん。 叱りつけるかと思いきや「面白そうじゃないか、 あたしもやろうっと」と腕まくり…。</p>	<p>だるまちゃんてんぐちゃん (加古里子 さく・え 福音館書店)</p> <p>だるまちゃんは、てんぐちゃんの持っているうち わやげたなど、何でも欲しがりますが…。 ユーモアあふれる絵本です。</p>
<p>どろぼうがっこう (かこさとし 絵と文 偕成社)</p> <p>おいのこもりの村はずれに、どろぼう学校があ りました。ある晩、遠足に出かけます。 「ぬきあし さしあし しのびあし どろぼうがっ ここのえんそくだ」…。</p>	<p>めっきらもつきらどおんどん (長谷川摂子 作 ふりやなな 画 福音館書店)</p> <p>遊ぶ友だちが見つからないかたは、お宮で へんてこなお化けたちと出会って愉快地遊び ますが…。 おまじないの言葉が楽しい絵本です。</p>
<p>おしゃべりなたまごやき (寺村輝夫 作 / 長新太 画 福音館書店)</p> <p>うっかりとり小屋を開けてしまった王様。犯人 探しにお城中が大騒ぎ。 たまご焼きが大好きな王様のユーモラスなお 話です。</p>	<p>よもぎだんご (さとうわきこ さく 福音館書店)</p> <p>ばばあちゃんが、おいしいよもぎだんごの 作り方を紹介します。</p>
<p>おおきくなるっていうことは (中川ひろたか 文 村上康成 絵 童心社)</p> <p>服が小さくなったり、自分より小さな人にやさし くなれたり、大きくなった喜びがいっぱい！</p>	<p>かいじゅうたちのいるところ (モーリス センダック さく じんぐうてるお やく 富山房)</p> <p>お母さんに叱られて寝室に放り込まれたマック スは、なんとかかいじゅうたちの国の王様になり ます。</p>
<p>そらいろのたね (なかがわりえこ 文 おおむらゆりこ 絵 福音館書店)</p> <p>ゆうじは、きつねが欲しがっていた模型飛行機 と取り替えた空色の種をまきました。すると、空 色の家がはえてきて、どんどん大きくなって …。</p>	<p>おふろだいすき (松岡享子 作 林明子 絵 福音館書店)</p> <p>ぼくはお風呂が大好き。あひるのプッカをつれ てはいると、かもめやペンギン、オットセイやく じらまで登場して…。空想の世界が広がる絵 本です。</p>
<p>すてきな三にんぐみ (トミー＝アンゲラー さく いまえよしも やく 偕成社)</p> <p>宝集めに夢中だった三人組の大盗賊が、ひょ んなことから全国の孤児を集め、お城をプレゼ ント！</p>	<p>しょうぼうじどうしゃじぶた (渡辺茂男 さく 山本忠敬 え 福音館書店)</p> <p>豆消防自動車じぶたは、小さなためにあまりみ んなから相手にされません。でも、じぶたが活 躍する時が来たのです。 子どもたちが大好きな乗り物絵本です。</p>

ファーストブックプレゼントのリスト

ファーストブックプレゼントは、ご家族のめくもりを感じながら赤ちゃんと言葉を通わすかけがえのないひとときを、「絵本」を介してもつことを応援する事業です。

赤ちゃんは、おひざのなかでだっこされて絵本を読んでもらうことで愛されていることや人と心を通わせる事を知り人を信頼することを覚えます。

さあ、赤ちゃんと一緒に絵本の世界の扉をひらいてみてください。

<p style="text-align: center;">いないいないばあ (松谷みよ子 文・瀬川康男 え／童心社)</p> <p>「にゃあにゃが、ほらほら、いないいない…ばあ！くまちゃんがほらね」とドキドキしながらページをめくる楽しさ。親子で楽しく遊べる絵本。長く日本の赤ちゃんに愛され続けている絵本の定番です。</p>	<p style="text-align: center;">うたえほん (つちだよしはる え／グランママ社)</p> <p>「ぞうさん」「いぬのおまわりさん」「むすんでひらいて」他、誰もが口ずさんだことのある、たくさんさんの童謡が入っています。すべての歌に楽譜がついています。お母さんの優しい声で歌ってあげてください。</p>
<p style="text-align: center;">おーいおーい (さとうわきこ さく／福音館書店)</p> <p>男の子が「おーい おーい」とよんだら、かぼちゃが「ぼちゃぼちゃ どすどす ずずんずずん」と返事した。家のなかのいろいろなものが、ゆかいな返事をして次々と集まります。リズムカルで楽しい絵本です。</p>	<p style="text-align: center;">がたんごとんがたんごとん (安西水丸 さく／福音館書店)</p> <p>「がたんごとん がたんごとん」と走る汽車に「のせてくださーい」とコップやバナナが次々に乗り込みます。繰り返しを楽しみながら、リズムに合わせて赤ちゃんの体も動きます。</p>
<p style="text-align: center;">くだもの (平山和子 さく／福音館書店)</p> <p>実物大でリアルに描かれたスイカやイチゴに思わず手もよだれも出てきそう。「さあどうぞ」の語りかけがやさしい絵本です。</p>	<p style="text-align: center;">ずかん・じどうしゃ (山本忠敬 さく／福音館書店)</p> <p>スポーツカー、トラック、バス、はしごしゃ、パトロールカー、いろいろな車がせいぞろい。子どもたちが大好きな自動車を種類別に描いている図鑑絵本です。</p>
<p style="text-align: center;">でてこいでてこい (はやしあきこ さく／福音館書店)</p> <p>「だれかかくれてるよ」「でてこいでてこい」きれいな色の中から、カエルが「げこ、げこ、げこ」ウサギが「びよーん、びよん」と跳び出してきます。ページをめくりながら、楽しく遊べる絵本です。</p>	<p style="text-align: center;">どうぶつのおかあさん (小森厚 ぶん・数内正幸 え／福音館書店)</p> <p>動物のお母さんはどんなふうにも子どもを運ぶのかしら？ネコやサル、ライオン、ハリネズミなど本物そっくりに描かれた動物の親子の絵は美しいだけでなく温かみにあふれています。</p>
<p style="text-align: center;">ばいばい (まついのりこ 作 絵／偕成社)</p> <p>ひよこやぞうやうさぎさんたちがそれぞれの窓からごあいさつ。「こんにちは」と「ばいばい」の繰り返し楽しい色鮮やかな絵本です。本のサイズもあかちゃんにぴったり。</p>	<p style="text-align: center;">びよーん (まつおかたつひで 作 絵／ポプラ社)</p> <p>「かえるが…びよーん」「こねこが…びよーん」下から上へ、ページをめくると、次々にいろいろな動物がジャンプします。赤ちゃんと一緒に「びよーん」を楽しみましょう。心も体も、あたたかくなる絵本です。</p>